

小間番号	企業団体名	小間番号	企業団体名	小間番号	企業団体名	小間番号	企業団体名
A-77	アルメディカルデバイス合同会社	B - 6	株式会社サカキメディカルデザイン	B-51	株式会社豊國	B-39	株式会社ミユーテック 35
A-16	株式会社アイオー精密	C-54	有限会社佐藤化成工業所	B-52	有限会社長浦製作所	C-30	美和電気工業株式会社郡山支店
B-17	株式会社アイカムス・ラボ	B-44	佐藤技術サポート	C-53	株式会社永沢工機	C-43	有限会社武藤製作所
B - 7	株式会社 Eyes,JAPAN	A-86	三栄産商株式会社	C-53	株式会社 NAKANO	B-56	村山産業株式会社
A-18	公立大学法人会津大学	C-31	三共化成株式会社	B-63	那須電機株式会社	B-50	株式会社メック
B-17	株式会社 IDEAL	B-13	株式会社三幸製作所	B-35	ナノテックヴァルト株式会社	C-56	株式会社 Medical Circulator
C-47	株式会社 ITP	A-81	三洲電線株式会社	A-26	国立大学法人新潟大学	B-55	公益財団法人やまなみ産業支援機構
C-53	株式会社アイパック	C-40	株式会社サンプロイト	C-50	ニチバン株式会社	A-27	国立大学法人山形大学 古川研究室
B-67	株式会社あかね福祉	C-52	株式会社サンユー印刷	C-36	NISSHA 株式会社	A-47	公益財団法人やまなみ産業支援機構
C-29	秋田未来株式会社	A-63	GS1 ヘルスケアジャパン協議会	A-97	株式会社ニッセイ	C-42	有限会社ヨークエン
B-64	秋山精鋼株式会社	A-30	JFE テクノリサーチ株式会社	A-100	日東工器株式会社	A-53	公益財団法人横浜企業経営支援財団
C-53	アサヒ電子株式会社	A-93	ジェービーシー株式会社	A-72	ニッパー株式会社	A-84	株式会社横浜ネプロス
B-24	株式会社朝日ラバー	A-59	シチズンファインデバイス株式会社	A-68	株式会社日本成工	C-27	株式会社リサシステム
B-54	AssistMotion 株式会社	A-82	株式会社品川通信計装サービス	A-96	日本電気硝子株式会社	A-87	リズム株式会社
B-16	アットドウス株式会社	A-57	シナノケンシ株式会社	B-29	日本ピストリング株式会社	B-45	立命館大学映像学部
A-31	株式会社 A L A N	B - 6	株式会社ジャイロ	C-32	ニデックブレジション株式会社	C-57	株式会社リベルワークス
C-34	株式会社有明	B-61	ジャスト株式会社	A-56	公益社団法人日本医業経営	A-66	株式会社ロッケン
A-83	株式会社アーラーナ	A-64	株式会社樹研工業	A-48	コンサルタント協会福島県支部	B-44	株式会社ワタオカ
A-19	アルス株式会社	C-25	有限会社湘南化成	A-51	一般財団法人日本品質保証機構		
B-26	アルファ電子株式会社	A-18	株式会社情報システムエンジニアリング	C-41	株式会社ネオス		
B-43	NPO 法人医工連携開発機構	B-25	新歴工業株式会社	B-22	バーフェクト株式会社		
B-67	株式会社イノフィス	B-50	株式会社ステリテック	A-79	株式会社ハギテック		
B-48	株式会社イムノセンス	B - 3	株式会社住田光学ガラス	B-30	合同会社傍楽		
B-52	有限会社岩井製作所	B - 4	整形インプラント製品国産化研究分科会(ふくしま RENG)	A-75	パナソニック株式会社		
B-23	イワキ・エコ・グループ	A-95	設計開発分科会【結いの会】	A-76	エレクトリック株式会社		
B-37	岩機ダイカスト工業株式会社	B-62	Z メカニズム技研株式会社	A-74	Hubbit 株式会社		
C-24	エイベックス株式会社	B - 2	Suzhou UP Medical Technology Co.,Ltd.	A-90	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点		
B-65	有限会社エスク	B-60	大日商事株式会社	A-58	林精器製造株式会社		
A-62	SGS ジャパン株式会社	C-48	大洋洋工業株式会社	B-51	株式会社バンディック		
C-51	株式会社エヌジェイアイ	C-33	タイム技研株式会社	A-67	BTSJAPAN 株式会社		
C-35	株式会社エム・ティ・アイ	B-28	株式会社ダイヤ精機製作所	B-59	株式会社ひたちなかテクノセンター		
B-57	エムビーネット鶴岡協同組合	A-99	高島産業株式会社	A-13	株式会社広川製作所		
B-19	株式会社エル・エー・ピー	C-38	株式会社タカノ	B-52	国立大学法人弘前大学		
B-66	株式会社オカモト	B-58	株式会社高橋型精	A-65	ファーシッシュエイビ株式会社		
A-36	沖縄パイオ産業振興センター	A-39	タカラ印刷株式会社	A-40	フエスト株式会社		
A-38	オクノグローバルテック株式会社	A-32	タキゲン製造株式会社	C-44	福島イノベ俱楽部		
B - 2	OfficeNOBU 株式会社	B-48	有限公司たぐみ	A-34	ふくしま医療機器開発支援センター		
A-49	株式会社化合物安全性研究所	C-37	株式会社タスク	C-45	福島県医療福祉機器産業協議会		
A-91	カネバッケージ株式会社	B-46	株式会社多田製作所	B-67	福島県介護ロボット普及促進事業		
A-98	株式会社カネバ(旧:株式会社ナガヨシ)	A-23	タマチ工業株式会社	A-46	一般財団法人福島県産業振興センター		
A-85	株式会社環境分析研究所	C-39	有限会社田村精技	A-60	福島県ハイテクプラザ		
B - 1	神田産業株式会社	B-52	中央ばね工業株式会社	A-37	一般社団法人福島県発明協会		
A-52	株式会社北日本金型工業	A-88	中興化成工業株式会社	A-25	公立大学法人福島県立医科大学		
B-10	株式会社きづなろ	A-61	一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構	A-73	一般社団法人福島県臨床工学技士会		
B-18	九州オープンイノベーションセンター	A-45	鶴岡発條株式会社	A-33	福島県N R W州医療福祉連携機器地域間交流コーディネーター		
B-12	株式会社協新製作所	A-21	帝国通信工業株式会社	A-54	福島市		
A-80	公益財団法人京都産業 21	B-15	株式会社テクニカルアーツ	A-17	国立大学法人福島大学		
A-20	共和産業株式会社	A-92	デュプロ精工株式会社	B-52	株式会社藤井製作所		
A-89	協和精工株式会社(秋田県)	C-49	東英ホールディングス株式会社	B-27	藤倉コンポジット株式会社		
B-14	協和精工株式会社(埼玉県)	A-35	東京都医工連携 HUB 機構	A-43	公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構フルマーバレーセンター		
B-47	株式会社旭東	A-14	東京農工大学田川義之研究室	B-52	富士無線機材株式会社		
A - 1	株式会社 xCARE	B-41	株式会社東鋼	B-47	フジ・レスペントケア株式会社		
A-12	国立大学法人群馬大学	C-46	東成イーピー東北株式会社	B-20	芙蓉開発株式会社		
B - 4	株式会社ケイ・エス・エム	C-26	東邦インターナショナル株式会社	B-67	株式会社ヘルステクノロジー		
B-32	株式会社ケディカ	A-11	学校法人東邦大学	A-76	株式会社豊榮		
A-50	興研株式会社	A-15	東北大学加齢医学研究所	A-94	株式会社豊栄工業		
A-55	郡山市	A-94	非臨床試験推進センター	B-49	合同会社放射線測定システム		
A-42	公益財団法人郡山地域テクノボリス推進機構	B-36	東和工業株式会社	A-44	星川株式会社		
A-70	五洲薬品株式会社	B-31	トーカドナジー株式会社	A - 6	ホツティーポリマー株式会社		
B-49	株式会社コスマックエムイー	C-28	トキコシステムソリューションズ株式会社	A-41	香港貿易発展局		
A-78	Qolo 株式会社	C-55	ドクタージャパン株式会社	B-46	マイクロ・ビーグル・ラボ株式会社		
A-24	学校法人智香寺学園埼玉工業大学	A-71	株式会社トクヤマ	B-40	株式会社三鈴		
B-11	公益財団法人さいたま市産業創造財團	B-21	株式会社トッパンインフォメディア	A-22	三菱ケミカル株式会社		
B-38	斎藤樹脂工業株式会社	A-69	公益財団法人富山県新世紀産業機構	B-34	みやぎ高度電子機械産業振興協議会		
B-67	CYBERDYNE 株式会社	B-17	株式会社 TOLIMS	B-33	株式会社ミュージングナリ		
C-49	サイントル株式会社						
B-53	株式会社坂井製作所						

シャトルバス運行時刻表 [9月27日・28日]



郡山駅 ⇒ ピッグパレットふくしま										ピッグパレットふくしま ⇒ 郡山駅									
8	00	15	30	45	11	00	30	⋮	⋮	14	00	30	⋮	⋮	17	00	15	30▲	45▲
9	00	15	30	45	12	00	30	⋮	⋮	15	00▲	30▲	⋮	⋮	18	00▲	15▲	30▲	45▲
10	00	30	⋮	⋮	13	00	30	⋮	⋮	16	00▲	⋮	⋮	⋮	19	00▲	⋮	⋮	⋮

▲は9月27日のみ運行
★は9月28日のみ運行

お問い合わせ

メディカルクリエーションふくしま実行委員会

事務局／ふくしま医療機器開発支援センター
〒963-8041 福島県郡山市富田町字満水田27番8
TEL 024-954-4014 E-mail: mcf@fmdipa.or.jp

今こそ、日本のものづくりの底力が 医療機器産業を押し上げる



第20回 医療機器設計・製造展示会

メディアカル クリエーション ふくしま2024

2024 9/27(FRI)・28(SAT) 9/27金▶10:00～17:00
9/28土▶10:00～16:00

会場：ビッグパレットふくしま

P.1~2 会場図 P.3~4 セミナー・イベント P.5~6 出展企業セレクション

7~10 メディカルクリエーションふくしま20年のあゆみ P.11 出展企業・団体一覧

主催 メディカルクリエーションふくしま実行委員会

(或団体)福島県、郡山市、ふくしま医療機器開発支援センター、福島県医療福祉機器産業協議会、福島県医療機器販売業協会、(一社)福島県臨床工学技士会、(一社)福島県理療法士会、(一社)福島県作業療法士会、(公大)福島県立医科大学、日本大学工学部、(公財)福島県産業振興センター、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構、(株)福島民報社

援 文部科学省、厚生労働省、経済産業省 東北経済産業局、(一社) 日本医療機器学会、(公財) 医療機器センター、(一社) 日本医療機器産業連合会、(一社) 日本医療機器テクノロジー協会、(一社) 日本医療機器工業会、(一社) 米国医療機器、IVD 工業会(AMDD)、先進医療技術工業会(AdvaMed)、NPO 法人医工連携推進機構、(一社) 福島県医師会、(公社) 福島県歯科医師会、(一社) 福島県薬剤師会、(公社) 福島県看護協会、(公社) 県診療放射線技師会、(一社) 福島県臨床検査技師会、(独) 日本貿易振興機構(ジェトロ)福島貿易情報センター、福島県商工会議所連合会、福島県中小企業団体中央会、(独) 中小企業基盤整備機構東北本部、福島県信用保証協会、県中小企業家同友会、(一社) 福島県弁明協会、(公財) 郡山コンベンションビューロー、福島県商工会連合会、郡山商工会議所、(独) 國際協力機構東北センター(JICA 東北)、(株) 東邦銀行、(株) 日刊工業新聞社福島支局、県民新聞社(県)、(独) 不動産

次年度のご案内



2025年10月29日水・30日木 会場:ビッグパレットふくしま 2025年2月開始(予定)

メディカルクリエーションふくしま2024

会場図

全国から255の企業・団体が出展！

出展者情報

詳細情報はこちらから
ご覧ください



別会場のご案内

1F コンベンションホール

9/27金
10:30～セミナー
17:15～交流会

昼食会場

2F 2階アトリウムロビーの奥
※旧レストラン (8:30～17:15)
3F 小会議室2・3 (11:00～15:00)

! 多目的展示ホール内では
お食事できません(飲み物のみ可)

1F多目的展示ホール



セミナーステージA

投票コーナー

創生アイデアコンテスト
部門アイデアコンテスト

全国の学生からアイデアを募集
「大切な人の命・
暮らしを守るために
医療福祉製品アイデア

皆様の投票で「優秀賞」を決定!
お気に入りのアイデアにぜひ1票を!

投票は
こちらから

福島県介護ロボット 普及促進事業

あかね福祉
イノフィス
CYBERDYN
ヘルステクノロジー

B-67

▶

介護ロボット
装着体験!

Fukushima
カイゴ☆ラボ

aba
エンゼル＆アイ
日本セイフティー
ハッピーケア

ふくしま介護生産性向上支援センター

福島県介護福祉士会
福島県社会福祉協議会
ミクニライフ＆オート
ミニむつき庵ふくしま

生産性向上に関する相談窓口
福島県内の介護事業所や介護
ロボット等の開発企業から
相談を受け付けています

▶

排泄や入浴に関する
介護ロボットを紹介

▶

最新技術
展示センター

▶

九州オープンイノベーションセンター

▶

最新技術
展示センター

▶</p



セミナー・イベントスケジュール

定員 席に空きがある場合は予約なしでも参加可

Free 予約なしで参加可

9/27金

① 10:30~12:00 コンベンションホール

定員 150名

今こそ、日本のものづくりの底力が 医療機器産業を押し上げる ～Connected in Fukushima 福島の挑戦～

これまで我が国の医療機器産業は、日本が誇る「ものづくり技術」を十分活かしきれていないという指摘がありましたが、国際情勢の変化や新型コロナパンデミックの影響で、サプライヤーによる部材調達・提供が難航し、生産の遅延、引いては医療機器の安定供給を脅かすという新しい課題が浮き彫りになりました。これまで20年にわたり医療機器設計・製造拠点化を推進してきた福島から、これからのが“新たな挑戦”を展望します。

講演	オリーパスメディカルシステムズ株式会社	代表取締役社長 横井 友尚 氏
泉工医科工業株式会社	常務取締役 青木 健雄 氏	
株式会社東鋼	代表取締役社長 寺島 誠人 氏	
東京大学副学長(産学協創推進、医工学イノベーション)大学院工学研究科 教授 佐久間 一郎 氏		
経済産業省 医療・福祉機器産業室 室長 渡辺 信彦 氏		
国立研究開発法人日本医療研究開発機構 医療機器・ヘルスケアプロジェクト プログラムディレクター 妙中 義之 氏		
福島県知事 内堀 雅雄 氏		
総括 公益財団法人医療機器センター		
一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構		
座長 ふくしま医療機器開発支援センター 事業企画推進部 理事長 菊地 真 氏		
部長 石橋 育 氏		

② 11:00~12:00 セミナーステージB Free

医療現場のニーズ発表

～リハビリの現場で求められているモノとは～

リハビリ専門職が日頃感じている“こんな機器があったらいいな”“今あるモノがもっとこうだったらいいな”という願いを、リハビリの現状を交えながら発表します。医療・介護分野への新規参入のヒントを見つけていませんか？

講演	11:00~11:20 「自律神経の状態把握の重要性」	福島県理療法士会 一般社団法人日本アレルギーリハビリテーション協会 及川 文宏 氏
	11:20~11:40 「人の生活行動を実現する[作業療法]×MR/VR リハビリ」	福島県作業療法士会 郡山健康科学専門学校 医療系運営部長 高野 真一 氏
	11:40~12:00 「聞いて・聴いて Hearing and Quality of Life」	福島県言語聴覚士会 福島県総合療育センター 原田 綾 氏

③ 14:00~15:00 手術室・集中治療室の再現展示ブース Free

展示企業による「製品の特徴と課題」の発信①

14:00	フクダ電子株式会社 ベッドサイドモニター / 人工呼吸器	司会 福島県臨床工学技士会 会長 出羽 仁氏
14:10	カーディナルヘルス株式会社 SCD700(フットポンプ)	
14:20	日本ストライカー株式会社 ICU ベッド	
14:30	GEヘルスケア・ジャパン株式会社 超音波診断装置	
14:40	泉工医科工業株式会社 ECMO	ECMO
14:50	株式会社セントラルユニー 医療ガス パネル	他

④ 15:00~16:00 セミナーステージA 定員 100名

ものづくり企業は、スタートアップ企業・大学開発チームとどう協働していくべきよいか

我が国の医療機器がグローバルに展開され、医療機器産業が成長し続けるためには、スタートアップ企業の役割が重要であり、国策としてもスタートアップ企業に対する様々な支援が行われています。最終的なEXITも期待されるようなスタートアップ企業を創出するためには、製造面で関わるものづくり企業の役割が大きく期待されており、今後ますます連携の必要性が高まることから、スタートアップ企業や大学開発チームとのものづくり企業が関わる際のポイントについて考えます。

講演	スタンフォード大学 主任研究員/医師 MedVenture Partners 株式会社 取締役チーフメディカルオフィサー	池野 文昭 氏
	ヘルスケアビジネス総合研究所 代表	
	ジャパンバイオデザイン アシスタンツ・ファカルティ 東北大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科 医師	
	神戸大学医学研究科医療創成工学専攻 特命准教授	

座長 ふくしま医療機器開発支援センター センター長 小林 利彰

⑤ 17:15~18:30 コンベンションホール 定員 200名

交流会(出展者・来場者) ドリンク・軽食付

[参加費] 一人500円(税込)/
17:00までにインフォメーションでお支払いください。

9/28土

① 10:15~11:15 セミナーステージB 定員 60名

～事例から学ぼう～

医療機器・ヘルスケア製品のデザイン開発

医療機器やヘルスケア機器の開発では、安全性・使いやすさ・分かりやすさを重視した企画やデザイン制作が大切です。経験豊富なデザイナーが、手術機器や在宅看護製品などの開発事例を交えながら、実践的なデザイン開発について解説します。

講演 マナブデザイン株式会社

代表取締役 デザイナー プロデューサー 高橋 学氏

② 10:20~11:30 セミナーステージA 定員 100名

第5回創生アイデアコンテスト最終審査

次代を担う学生を対象に、医療やそれらを支える医療機器の開発など、私たちの健康的な生活に関わる分野に興味・関心を抱いてもらうためのコンテストです。一次審査を通過した6チームの最終審査を行い、最優秀賞を決定します。学生たちのプレゼンにも注目です。

テーマ 「災害時の医療と福祉に役立つ製品アイデア～災害が起きる前・起きたとき・起きた後～」

発表チーム 井下敬翔／滋賀大学大学院

Partner Stick／筑波大学大学院

ゆい／熊本高等専門学校

Noneedle Nexus／東京農工大学大学院

岡田塔子／女子美術大学大学院

エイトオーケストラ／青森県立八戸高等学校

*発表順

③ 11:00~12:10 手術室・集中治療室の再現展示ブース Free

展示企業による「製品の特徴と課題」の発信②

11:00	シスマックス株式会社	hinotori 手術支援ロボット
11:10	日本ストライカー株式会社	Mako 手術支援ロボット
11:20	コヴィディエンジニアリング株式会社	FT10 エネルギーブラットフォーム(エネルギーーデバイス)
11:30	オリーパスマーケティング株式会社	サンダービート／パワーシール(エネルギーーデバイス)
11:40	泉工医科工業株式会社	麻酔器
11:50	フクダ電子株式会社	除細動器
12:00	株式会社コスマスウェブ	CuffAid(カフエイド)自動カフ圧コントローラー
	司会 福島県臨床工学技士会 会長 出羽 仁氏	コメントター 宮城県臨床工学技士会 会長 尾越 登氏

Free

④ 12:00~14:30 セミナーステージB 定員 30名

メディカルイラストレーションセミナー

医療の情報をどのようにわかりやすく正しく伝えるか? 本セミナーでは、外科医師を対象に、メディカルイラストレーターが「伝わるメディカルイラスト」の描き方とそのコツを、講義＆ハンズオン形式でお教えします。(医師以外の方も見学可能です)

講師 日本メディカルイラストレーション協会 初代会長

L & K メディカルアートクリエイターズ株式会社 取締役

レオン佐久間 氏

アシスタント L & K メディカルアートクリエイターズ株式会社

チーフクリエイター 由(yoru) 氏

⑤ 13:00~13:15 セミナーステージA Free

第5回創生アイデアコンテスト表彰式

⑥ 13:30~15:30 セミナーステージA MDICポイント付与(5P) 定員 100名

イメージで学ぶ「ユーザビリティエンジニアリング」

～医療機器開発を確実に成功へと導くために～

ヒューマンエラーが多発したことで制度化されたユーザビリティエンジニアリングに対しては、「進め方がわからない」という声が少なくありません。本セミナーでは、基本的な考え方を再確認するとともに、プロダクト・UI/UX両デザイナーの視点から設計の進め方を学びます。あわせて、実際の製品を用いて評価した「模擬デモンストレーション」をご覧いただきます。

講演 株式会社xCARE(クロスケア)

株式会社サカキメディカルデザイン

株式会社ジイロ

ふくしま医療機器開発支援センター

座長 ふくしま医療機器開発支援センター 事業企画推進部

テクニカルアドバイザー 細田 誠一

部長 石橋 育 氏

⑦ 14:00~15:00 手術室・集中治療室の再現展示ブース Free

展示企業による「製品の特徴と課題」の発信③

14:00	日本光電工業株式会社	生体情報モニター
14:10	日本光電工業株式会社	コクーン(体温管理)
14:20	泉工医科工業株式会社	手術用電気メス
14:30	泉工医科工業株式会社	人工心肺装置
14:40	センシングメディカル株式会社	機械台・ポンプスタンド
14:50	ミズホ株式会社	手術台

ものづくり企業が培ってきた「高い技術力」を集中展示!

ふくしまTECHでつくストリート



展示会場中央に78社の技術を集中展示! 他にはまねできない、磨き抜かれた「技術」や「部材」をまとめて見ることができます。営業マンのいない無人展示スペースですので、じっくりと技術を見定めてください。

スタンプラリー実施中!

展示企業のブース訪問数に応じて、以下のような景品をプレゼント!

FOCUS!

小間番号 C-26 貿易を通じて、世界と日本のものづくり産業に貢献

東邦インターナショナル株式会社

ISO9001

社員一人ひとりがプロフェッショナルとなってグローバルとデジタルの知見を生かせば、地域や大学、業界団体とも協業しながら社会課題を解決できると考えています。新規領域への事業展開など、新しい挑戦によってこれまでにない付加価値を創造しながら、日本のものづくり、さらに世界のものづくりの発展につなげていきます。トータルメディカルソリューションをご提案いたします。

展示品 マッチングのご提案
日本初上陸！ONLY ONE製品！ご紹介
表面欠陥、表面洗浄度など一段上の品質レベルへのご提案

〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル17階
TEL:06-6543-4561 (大阪本社)
TEL:028-680-6692 (関東支社)

<https://www.toho-intl.co.jp>




小間番号 B-29 エンジン機能部品で培ったコア技術で医療に貢献

日本ピストンリング株式会社

ISO13485 ISO9001 ISO14001
第一種医療機器製造販売業許可 医療機器販売業許可
医療機器製造業登録 高度管理医療機器等販売業

チタン・タンタル合金：生体親和性かつX線視認性のある金属材料です。体内埋入の部材に最適。
チタン系MIM：ASTMに準拠、小型で複雑な形状の製品が作れます。
金属3D積層造形：小ロット生産に対応いたします。
DLC・TiNコーティング：生体親和性があり、耐摩耗性が向上する皮膜です。
歯科用インプラント：純国産インプラントシステムを提供します。
手術支援ツール：内視鏡・腹腔鏡手術の教育の効率向上へ。

展示品 医療用新材料、チタン・タンタル合金 "NiFreeT"、
チタン系MIM(金属粉末射出成形品)、
金属3D積層造形品、DLC・TiNコーティング、
歯科用インプラント、
手術支援ツール EYEPOINTER

〒338-8503 埼玉県さいたま市中央区本町東5-12-10
TEL:048-856-5033
<https://www.npr.co.jp>




小間番号 A-94 日本一！小回りが利く医療機器開発・OEM受託企業

株式会社豊栄工業

ISO13485 ISO9001
医療機器製造業登録
第二種医療機器製造販売業許可

豊栄工業では金属加工に加え、プラスチック射出成形加工、金型設計製作のノウハウを活かして医療機器の開発支援、量産組立てなどのOEMや生産移管を承っております。製品開発から、金型設計製作、部品加工、クリーンルームでの組立て、梱包までを一貫してサポートいたします。既存流動品の増産対応や万が一のバックアップ工場をお探しのご担当者様、新商品開発や生産販売を進めたいとお考えの企業様のご要望にお応えいたします。

展示品 医療機器開発支援・医療機器製造OEM受託、医療機器・自動車・鉄道車輌・航空機向け精密部品加工、金型設計・製作、植物由来ポリ乳酸樹脂(PLA)を使用したバイオプラスチック製品製造

〒441-1346 愛知県新城市川田字新間平1-369
TEL:0536-22-0696
<http://www.hoic.co.jp>




出展企業セレクション

小間番号 B-28 こんなものが欲しい！を形にします

株式会社ダイヤ精機製作所

ISO13485
第三種医療機器製造販売業許可
医療機器製造業登録

シャフト軸が振れない持ち手構造により、狭い鼻腔内でも安定して縫合せが可能。鼻内の粘膜縫い合わせや、頭蓋底の硬膜縫い合わせが容易になるよう設計。半世紀以上にわたり積み重ねた精密加工技術と最新鋭の機械設備を最大限に活かし、設計から加工・組立、検査まで一貫して社内で対応。

展示品 イージーノット K.O グリップ持針器

〒394-0084 長野県岡谷市長地片間町1-4-20
TEL:0266-27-7733 (代表)
<https://daiya.co.jp>




小間番号 C-27 お客様や社会への、安心・安全の貢献

株式会社リサシステム

JAPHICマーク(個人情報保護)認証

「アラーム検知之助」は在宅医療の現場のニーズから生まれた製品で、監視したい機器に後付けし、アラーム発生を光の色で判定し、アラーム発生とその時の写真をスマホにプッシュ通知します!機器のそばにいなくても、アラーム発生を知ることができます。

2023年「第12回メディカルクリエーションふくしま大賞 特別賞」を受賞
2024年「第34回日本臨床工学会 第7回医工連携Award 優秀賞」を受賞

展示品 機器のアラーム発生を知らせる「アラーム検知之助」

〒194-0215 東京都町田市小山ヶ丘二丁目2番地5
まちだテクノパークセンタービル3階
TEL:042-798-5155
<https://www.lisa-system.co.jp>




小間番号 B-53 WIN WIN でのものづくりを行う 旋盤加工会社

株式会社坂井製作所

ISO9001

旋盤加工機で切削加工を行っており、丸形状の材料から削り出しでの加工を行っております。水栓、美容機器の業界で得た知識を駆使して、様々な視点からの提案を行います。

展示品 φ0.5～φ60までの金属加工部品
手のひらサイズの物から、微細加工形状部品まで

〒509-0109 岐阜県各務原市テクノプラザ2-21
TEL:058-322-4317
<https://e-sakai.co.jp>




※特別プランでお申込いただいた企業様を掲載しています

メディカルクリエーションふくしま

20年のあゆみ

2005・

メディカルクリエーション ふくしまの誕生

県では、地元企業が得意とする技術力や大学等研究機関の成果を医療機器メーカーに紹介し、売り込む場として、米国のオープンイノベーション型展示会「MD&M (Medical Design Manufacturing)」を参考に、2005年「メディカルクリエーションふくしま」を初開催しました。20年にわたり継続し、医療・福祉機器の開発・製造過程において必要とされる新技術、部材、コンポーネンツなどの提案に焦点を当て、マーケティング、開発製造、購買管理担当者などとの、大規模なマッチングの機会を提供し続けています。

Background

福島県には、2005年当時、オリンパスやジョンソン・エンド・ジョンソン、日本ペクトンディッキンソンなど30を超える医療機器工場が操業しており、それらの企業へ地元企業が部材を提供するという連携の素地が生まれていました。また、日本大学工学部と福島県立医科大学による医工連携が発足し、地元企業が試作開発で協力する仕組みが構築されました。一方、革新的医療機器の事業化には多額の投資と長い期間を要するため、地元企業から県に対し、他の方法で医療機器分野へ参入する方法はないかとの問題提起がなされました。ちょうどその時期、薬事法改正により医療機器製造のアウトソースが可能となったことが追い風となり、地元企業の医療機器業界への参入可能性が、より一層高まりました。

こうした背景を踏まえ、県では2005年から「次世代医療産業集積プロジェクト」として、異業種の医療機器分野への新規参入を促進、医療機器産業クラスターの形成に向けた本格的な活動を開始し、フラッグシップイベントとして「メディカルクリエーションふくしま」が誕生しました。

福島県産業振興策のあゆみ

メディカルクリエーションふくしまのあゆみ

2006 ニーズ開発促進に向けて シンポジウム開催

「生殖補助医療」の現状と課題を発信し、課題を解決する技術展も同時開催



2007 本格型MD&Mスタイルへ

「医療福祉機器関連ものづくり技術の集積をめざして」と題し、医療機器メーカーのR&D、製造・生産、購買関係者との企業間のマッチングを促進

2008 日本医療機器学会との 共催へ

出展者の50%以上が県外企業となり、全国規模の展示会に発展



2010 実行委員会形式での開催がスタート (事務局を県立医科大学に)

「患者に優しく安全な医療機器のあり方を考える～低侵襲治療の現状と課題～」と題した医療ニーズ発掘セミナー、手術支援ロボットの3Dバーチャルデモを実施



2011 東日本大震災を乗り越え、 開催場所・日程を変更し開催

「ものづくりの絆で日本復興！すべては今日の医療を支えるために」と題し、日本大学工学部にて開催
医療ニーズ発掘セミナー「被災地医療現場で求められている医療機器・医療技術とは」では、被災地医療再生に必要なものを発信



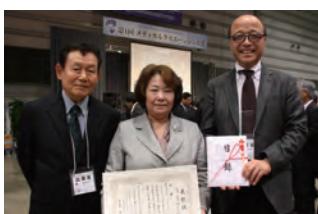
2013 葉事法の改正 地元の異業種、製造業者にとって 「新規参入のチャンス到来」と判断！

それまでの医療機器製造業許可制が、「製造販売業許可」と「製造業許可」とに分離され、製造のアウトソース化が認められた

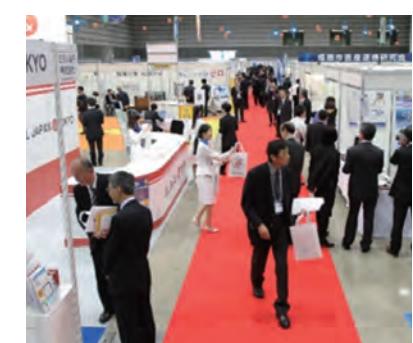
2014 福島県とドイツ ノルトライン・ヴェストファーレン (NRW) 州で医療機器分野での連携協定を締結

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（略称：薬機法）施行

2015 AMED (国立研究開発法人 日本医療研究開発機構) 発足



2015 救急災害対応医療機器開発の成果などを企画展示



2012 メディカルクリエーションふくしま(MCF) 大賞を創設、医療機器メーカーを設置

ドイツNRW州を中心とした医療機器クラスター企業が初出展



2016 最多となる276企業・ 団体が出展

医療機器メーカーとの「ふくしま・ランチョン交流会」やふくしま医療機器開発支援センターの視察バスツアーなどを同時開催

2017 整形外科領域に貢献する 技術や製品の集中展示

同領域の医療機器設計・開発・製造・加工等の特別展示、セミナーを開催

2018 臨床工学技士との プログラムを展開

ブースツアーや合同ワークショップを企画

2019 ロボット・IT技術との コラボレーションを企画

「メディクリ×ロボット」「メディクリ×IT」をテーマに取り入れ、セミナーや企画展示を実施

2014 ふくしま医療機器産業推進機構が事業を 本格化、事務局を担う

学生ハンズオンツアーやコンシェルジュサービスなど新たな企画をスタート
メディカルクリエーションふくしま10年のあゆみ展を開催



2016 ふくしま医療機器 開発支援センター開所



2020 急ピッチでオンライン に切り替え、開催へ

オンライン上でマッチングや交流のイベントを企画し、初のオンライン出展に向け、企業のWEB面談の練習やPR動画の制作もサポート



2021 ロングラン（半年間） でのオンライン開催

LIVE配信で臨場感あるプログラム「名刺交換会」「プレゼンテーション」などを実施



2022 3年ぶり！リアル開催

「医療技術の最前線に見て、触れて、体感する」をテーマに、手術室の再現や大正・昭和時代と現代の医療機器の比較展示を実施



2021 地域連携拠点自立化推進事業に採択

ふくしま医療機器産業推進機構は2021年から研究テーマ「東北地域の資源を活かした広域連携拠点自立化に向けた研究」、2023年からは「地域と立場の壁を超え、安全性評価を軸に、共に体感し推進する国内唯一の医療機器開発拠点整備」に取組む



2024 ●

20周年を迎える



2023 ふくしまTECHてつ くストリートを新設

他にはまねできない磨き抜かれた技術や部材をまとめて見ることができる無人展示コーナーの誕生



2022 世界情勢の 変化

2021 コロナ パンデミック 100年に1度

2020 世界情勢の 変化

2019 世界情勢の 変化

2018 世界情勢の 変化

2017 世界情勢の 変化

2016 世界情勢の 変化

2015 世界情勢の 変化

2014 世界情勢の 変化

2013 世界情勢の 変化

2012 世界情勢の 変化

2011 世界情勢の 変化

2010 世界情勢の 変化

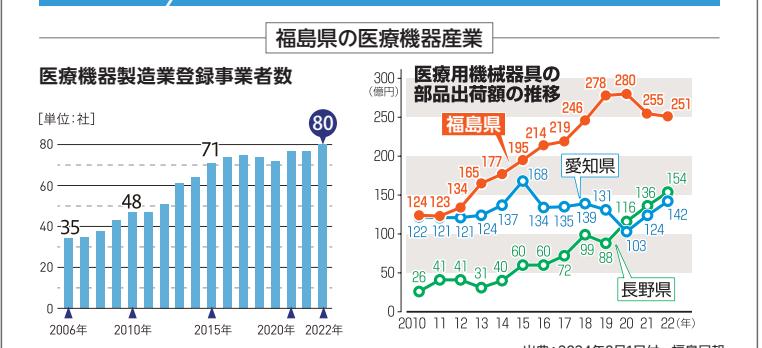
2009 世界情勢の 変化

2008 世界情勢の 変化

福島県の医療機器産業振興

- 震災からの復興
- 異業種からの新規参入促進
- 次世代人材の育成
- 医療機器産業のさらなる集積

Point 全国有数の医療機器産業集積地 医療用機械器具部品の出荷額13年連続で日本一



2005年設立

福島県医療福祉機器産業協議会

メディカルクリエーションふくしまの誕生と同じ2005年に、医療・福祉機器分野への参入促進を目的とする協議会の前身「福島県医療福祉機器研究会」が設立しました。2015年からは、名称を「福島県医療福祉機器産業協議会」へ変更するとともに、医療機器メーカーと医療従事者との積極的な交流による新たなビジネスの創出や、企業人材の育成を通して、会員の取引拡大と技術基盤の強化を図るための活動を行っています。

取り組みの事例

①ビジネスマッチング

会員企業が国産医療機器メーカーの工場を直接訪問し、医療機器の開発担当者のニーズに対して、具体的な技術提案を行いました。この訪問をきっかけにメーカーと会員企業の連携が深まり、具体的な受注につながりました。

②人材育成

医療機器産業への新規参入を目指す企業の経営者を対象に、命を救う現場である病院内を見学し、医療従事者の声を聞く「社長塾」を毎年実施しています。

その他、会員企業がそれぞれの特色を生かし、自主的な活動を行う4つの「分科会」が発足しており、活発に活動しています。



2016年開設

ふくしま医療機器開発支援センター

ふくしま医療機器開発支援センターは、2011年に発生した東日本大震災からの産業再生復興を目的に、2016年11月に福島県が開設した施設です。医療機器の開発から事業化までを一貫的に支援する国内初の施設として、次の4つの機能を有しております、医療機器の開発支援・医療従事者の人材育成などを行っています。

4つの機能

- ①安全な医療機器を世に送りだすための
性能評価・安全性試験
- ②医療機器開発に関わる人々をつなぐ
マッチング・情報発信
- ③医療機器開発に必要な情報を知る
コンサルティング
- ④医療機器を使う人、つくる人を育てる
人財育成・トレーニング



Voice

メディカルクリエーションふくしま
今まで、この先も

B-26

B-26

アルファ電子株式会社 (福島)

製造業／18回目、2007年

ベンチャーから大手メーカーまで幅広い出会い

通常の商談会や展示会では、弊社の強みである医療機器（医療機器製造業登録、ISO13485 取得）、ヘルスケア、エネルギー関連、開発を伴う量産立ち上げ、効率的な量産組立て請負等をなかなかアピールできませんでした。本展示会は、それらの技術をアピールできる有効な場と捉え、2007年から連続出展しています。その中で、医療機器のベンチャー企業から大手医療機器メーカーに至るまで幅広い出会いがあり、受注にもつながっています。また、医療機器以外の商談にも有効だと思います。

B-65

C-25

有限会社エスク (福島)

製造業／20回目、2005年

多くの医療機器メーカーとの取引につながった

弊社製品は、細管製品など小さいものが多いためWEBなどではありません効果が無く、展示会で実際にお客様に製品に触れて戴くことが重要だと感じています。また、本展示会に連続出展していることで、弊社の特徴である「他社では製造できない難加工材、高精度の細管製造技術」を認知していただき、多くの医療機器メーカーとの取引に繋がっています。おかげ様で、景気動向に左右されにくい医療・美容関係の売り上げが総売り上げの65%になっています。また、来場者も他の国内医療機器展示会より質の高い方が多いと感じており、今後も継続出展する予定です。

有限会社湘南化成 (神奈川)

製造業／11回目、2010年

何物にも変えられない場

本展示会を通して出展企業様との出会いや来場企業様と繋がりを持てた事、医療の知識を沢山教わった事等、弊社にとっては何物にも変えられない場となりました。また、医療機器メーカーからの受注や大学とのコラボなど、多くの実績にも繋がりました。毎年内容の濃いイベントや、とても居心地の良い時間を用意してくださることに感謝とともに、これからも末永く様に願っております。メディカルクリエーションふくしま20周年おめでとうございます。

B-3

株式会社住田光学ガラス (埼玉)

製造業／15回目、2010年

出展することに意味を見出せる展示会

弊社の内視鏡事業のスタートは2010年、本展示会への出展からでした。極細内視鏡が本当に顧客価値があるのか？半信半疑で出展したところ、多くの先生方の「こんな細い内視鏡(Φ1.0mm以下)があるのか」と驚いていた姿が今でも印象に残っています(顧客価値の発見)。そういう意味では、学会展示とは異なり、幅広い情報収集やネットワーク構築の「場」として出展することに意味を見出せる展示会だと思っています。よって、今後メディカルクリエーションふくしまという展示会の独自性を深めるためにも、さらにネットワークを構築するための仕組みや、マンネリ化しないあつと驚くような仕掛けの企画を期待します。

A-4

国立大学法人鳥取大学医学部附属病院(鳥取)

5回目、2016年

本展の縁が新たなプログラム開設のきっかけに

全国から多くの素敵な方々が集い、貴重な機会をいただけるため、2016年から参加しています。その年は、弊学の隣ブースが東北大学医工学研究科であり、マイクロシステムを始めとする素晴らしい技術を紹介されました。説明をされていた先生との出会いがきっかけで、2017年1月より東北大学との交流が始まりました。さらに2019年にはこのご縁をもとに同先生が弊学に着任され、2023年に鳥取大学医工学部の医工学プログラム開設にも繋がりました。本展示会のおかげで心より感謝申し上げます。その他にも、日本の医療機器開発を活性化しようとチャレンジしている方々に出逢えるため、いつも楽しみにしています。

C-13

大研医器株式会社 (大阪)

医療機器メーカー／10回目、2015年

成果への実感が継続につながる

本展示会は初期から注目しており、来場者として参加していましたが、2015年からは医療機器メーカーとして出展しています。医療機器に関わるものづくり企業、医療従事者、アカデミア、行政、支援機関、医療機器メーカーが一堂に会する、他に例をみない展示会だと思っています。弊社では、設計者や調達担当者も参加し、実際にマッチングの成功率も高くなっています。成果への実感が継続につながっています。1年に一度、関係者が福島の地に集まることも、大変意義のあることだと思っています。メディカルクリエーションふくしま20周年おめでとうございます！

B-34

みやぎ高度電子機械産業振興協議会 (宮城)

15回目、2010年

相互連携の強化を期待

弊会では、例年、協議会会員の県内企業と共同出展をしています。首都圏で開催される大型展示会と比較しても、共同出展各社の商談実績の平均額に關しては大きな差ではなく、商談成功率が比較的高い展示会だと感じています。また商談だけではなく、福島県を中心に他県の企業の情報収集をし連携先を探すことでも、本展示会に出展する意義だと考えています。宮城県からアクセスしやすく、大型展示会と比較して出展料金も割安なことから、宮城県内の企業にとってもハードルが低くない展示会です。今後ますます東北地域の相互連携を強化していく展示会になることを期待しています。